



二十六聖人

日本二十六聖人殉教者



聖ボナベンツラ

19、京都出身で出生後受洗。両親の死で仏教徒として育ち、子供のとき僧侶になるため寺に入った。ある日、受洗したことが分かり、フランシスコ会の同宿として教理の勉強に励み、宣教に尽力。

日本二十六聖人殉教者



こさき
聖トマス小崎

20、伊勢出身で、ミカエル小崎の息子。マルチノ神父を手伝う。信仰深い少年で、司祭になる希望を持ち、長崎への道すがら母親に宛てた手紙が有名。

巻頭言：アンパンマンとキリスト

今年の6月22日はキリストの聖体の祭日ですが、二俣川教会では8人の子どもたちが初聖体を迎えます。今、教会学校で一生懸命勉強しているので、皆様もぜひお祈りしていただけたら幸いです。

子どもたちが初聖体ではじめてキリストの体をいただきますが、どのように感じてくれるかとても楽しみにしています。また、洗礼を受けた私たちは毎日、毎週ミサの中で御聖体を当たり前のように食べていますが、改めてその意味を深く黙想しながら、私たちも子どもたちの初聖体を通して自分がはじめていただいた時のことを思い出せばいいと思います。

さて、今月の巻頭言はアンパンマンとキリストと書きました。現在、NHK朝ドラで「あんぱん」が放送されています。私も毎日見るようにしていますが、アンパンマンの作者である、やなせたかしさんとその妻、小松暢さんをモデルとしたお話です。やなせたかしさんは、2013年、94歳でお亡くなりになりました。

皆さん、アンパンマンとキリスト教の接点については知っているでしょうか？実は深い関係があります。作者のやなせたかしさんはクリスチャンで、アンパンマンのモデルはイエス・キリストであるとされています。そこでいくつか共通点を見てみましょう。

・イエス様は弱い人や苦しんでいる人、困っている人を見つけ出し、助けてくれるお方です。これはアンパンマンのストーリーと同じですね。

・さらに、イエス様によって癒され助けられた人は新しい人生が与えられますが、アンパンマンのストーリーでも、アンパンマンから

パンを与えられた人は、再び力がみなぎり、元気いっぱいになります。

・イエス様は私達の罪のために自らの命を捧げて私達に新しい命を与えてくれました。アンパンマンは、お腹をすかせている人に自分の顔【=あんぱん】を与え、食べさせてくれます。それによって弱ってしまった時にバイキンマンに攻撃されて倒されてしまう。

・死んだ後、イエス様は再びよみがえる。イエス様は死に打ち勝ち、人々に希望を与え、彼らの人生を変える。アンパンマンの場合、バイキンマンに攻撃された後、新しい頭がジャムおじさんから与えられ、顔を取り替えて復活する！そしてバイキンマンを退治します。

この他にも色々と共通点はあると思いますが、アンパンマンは自分を犠牲にして、人々に「喜び」と「生きる意味」を教えています。これはイエス・キリストと全く同じ姿なのです。やなせさんがアンパンマンを通して伝えるメッセージとは、「本当に強いヒーローは自分以外の人のために自分自身をささげられる人」ということなのです。

いずれにせよ、アンパンマンの見た目の姿と、イエスキリストの姿、もちろん見た目は共通点がないようにも思います。でもアンパンマンがパンであるということは、実は重要なかもしれません。

なぜ「パン」なのでしょう。聖書の中ではイエス様が食卓でパンを取り、それを裂き、これは私の体であると言って弟子たちに分け与えます。（マタイ26：26）アンパンマンはどうでしょうか。アンパンマンも自分の体の一部であるパンを裂いて、

「さあ僕の顔をお食べ」と言ってパンを分け与えます。

パンは主食の1つです。どんなにおかずを食べても主食をちゃんと食べないと力が湧かない。十分に満腹感は味わえません。パン(日本で言うならお米)というのは活力の源です。この食事を私たちの生活に置き換えるとどうでしょうか。私たちは日々の生活において、傷つき、心にぽっかりと穴があいて、心が充たされない。つまり「心の空腹」のようなものを感じることが多々あると思います。

その場しのぎで色々な方法で心にある穴を埋めることはできます。でも何か「満たされない感」がある。あるいは「満足感が続かない」ということがあります。しかしイエス様の言葉に心の耳を傾けて、イエスの愛を知り、信頼することができる時、心の穴は埋められる。つまりイエスのパンを食べることで「生きる喜び」を実感できるようになるといことなのではないのでしょうか。そしてその喜びを「実感」した時、同じように自分も、一人でも多くの人に「命のパン」を食べてほしいと思うこと、その大切さを教えているのだと思います。

いつも満たされている人生などない。でもこうした生きる事の難しさの中に「生きる喜び」を見出し、道を切り開いてほしい。そうしたやなせさんの力強いメッセージというもの、アンパンマンを通して感じるができるのではないかと思います。やなせさんは作詞家としても活躍した方です。

皆さんもご存じの「手のひらを太陽に」や「アンパンマンのマーチ」の歌詞もやなせさんが手がけたものです。その歌詞を味わってみましょう。子供向けの歌の中にも、生きる事の難しさと、同時にそこから「希望」や「生きる喜び」を見出し、「生きることの大切さ」というような力強い「生きること」のメッセージが理解できるのではないのでしょうか。

真のヒーローとは「飢えている人にパンを分け与える人」。ちっぽけかも知れないけれど大きなこと、大切なことなのです。私たちも決して楽なことばかりでない生活の中でも、日々の祈りやミサの中で神様に心の耳をしっかりと傾け、真の「生きる喜び」を知り、それをたくさんの人々に分け与える優しい人になりたいものです。

マキシミリアノ・マリア・コルベ 内藤聡





2025 年 5 月 (5 月 4 日 開催)

【検討・報告事項】

1. 枇杷神父様から叙階式の礼状が届きました。ロビーに掲示します。
2. 信徒意見検討
信徒から頂いた意見を検討しました。
- ①「高齢や体の不自由な方と共に山手教会へ聖年の巡礼を検討して欲しい。(バス等を利用して)」福祉委員会が全国の聖年指定巡礼教会への「バーチャル巡礼」(現地に行かずにできる巡礼)を企画しているので一緒に検討してもらいます。
- ②「献堂 60 周年なので前庭に記念植樹をしたらどうか。」マリアガーデン奉仕グループに検討を進めてもらいます。
3. 設備投資
 - ・ 2013 年に設置した三階空調設備が老朽化してきたので更新します。今年中に第一期工事、来年以降に第二期工事を行います。第一期工事費用は約 756 千円(税込)です。
 - ・ 当教会ほか第三地区四教会が建設した上大岡共同墓地では、合葬墓の収容スペースが一杯になってきていおり、来年以降に合葬墓の増設を行う予定です。当教会の分担額は 5～6 百万円となる見込みです。
 - ・ 聖堂で DVD を映写するときにノートパソコンを使用していますが、使い勝手が悪いので家庭用 DVD プレイヤー 1 台を購入することにしました。
4. ナン助祭司祭叙階プロジェクト
 - ・ ベトナムで行われる司祭叙階式への列席ツアー参加者を募集しています。

- ・ 7 月～司祭叙階の祈りを始める予定です。
5. ドバール神父様の追悼行事
4 月 13 日に帰天された当教会の初代主任司祭ドバール神父様を追悼する行事を企画します。
 6. 姜神父様への餞別および姜神父様の献金
餞別金支出の報告がありました。あわせて神父様から頂いた献金の使い道について検討しました。姜神父様のご意向に沿って、新しい聖歌集や子どもたちと若者たちの信仰教育のために使いたいと思います。
 7. 教会事務所の規程改定に関する説明
3 月信徒集会で「カトリック二俣川教会事務所の業務・労務管理に関する職務規程」(以下、旧規程)を廃止し、それに代わる「カトリック二俣川教会事務所運営方針」(以下、新運営方針)を制定しました。教会事務所に関する規程の説明をしてほしいとの意見があったので、旧規程および新運営方針の全文、改定骨子、現在の事務所運営状況などを資料にまとめて信徒の皆さんに配布する予定です。
 8. 災害支援などの献金袋
(主にカリタス・ジャパン向けのもの)
天災戦災からの復興を支援する献金袋は、今後、原則として 6 ヶ月を期限とすることにしました。なお、現在ある献金袋については今から 6 ヶ月とします。

【各会報告】

1. 典礼委員会
 - ・ ベネディクション 6/5(木)19:00
 - ・ 6 月 24 日(火)10:00 の洗礼者聖ヨハネの誕生(祭)ミサは内藤神父様が月修のため行われません。
2. 教会学校
 - ・ 6/22 初聖体のお祝いで 8 人の子供たちがお恵みを受けます。

- ・5月から初聖体クラスの子供たちの紹介ボードをロビーに掲示します。ご覧になってお祈りで支えてください。

3. キリスト教講座

- ・4月よりスタートした入門講座の受講者は6名(未信者3名・信者3名)です。
- ・「聖書の集い～福音のわかちあい～」は5/11より参加自由となります。
- ・シスター小野恭世(孝女会)の講話ビデオ「自分を深く知るために」(全24回)の上映を月2回、10時ミサ後に予定します。(日程5/25、6/1、6/15、7/6、7/20)

4. 広報委員会

- ・フランシスコ教皇様、ナン助祭、聖年の記事を企画します。
- ・聖年聖歌「希望の巡礼者」を二俣川教会でも取り入れることが提案されました。

5. 福祉委員会

特別聖年のバーチャル巡礼に向けて、各教区の巡礼指定教会に対して巡礼の様子(動画や写真)の提供をお願いする予定です。

6. 建物管理委員会

神父様がご不在の間に司祭館の補修・改良工事と清掃業者によるハウスクリーニングを行いました。掃除をしていただいたマリア会有志の皆様には感謝します。

7. 共同墓地委員会

- ・4月の共同墓地利用生前予約2名を受付けました。
- ・上大岡共同墓地で5月10日に春の墓参を行います。

8. ヨゼフ会

- ・4/27 定例会実施、コーヒー提供 4/13、20、27
- ・5/11 内藤神父様歓迎会でコーヒー提供、5/18 定例会予定、5/25 コーヒー光予定
- ・6/21(土)～22(日)練成会予定

9. マリア会

- ・5/29(木)にマリア会の日として映画会を開催します。

・報告

アンナ会 4/14 活動、5/12、26 活動予定
ステラマリス帽子を編む会 4/18 活動、5/16、22 活動予定
ボリビア支援グループ 4/29/活動
(「ボリビアの風だより 5/4 号」の作成)、5/4「ボリビアの風だより」配布予定、5/23 会議予定
パーティー係 イースターパーティーの際にはたくさんのご協力を頂きありがとうございました。5/11のパーティーにくだもののご寄付をお願いします。

10. 青年会

- ・4/20 イースターパーティー後に新青年歓迎会を行いました。今年高校を卒業した対象者4名を含めた多くの青年が参加しました。自己紹介やゲームの後に、わかちあいたいかいのテーマを検討しました。テーマは、聖年「希望は欺かない」を味わう～カオスからコスモスへ～にしました。
- ・名札プロジェクト 前回の名札作成から時間が経ち、持っていない方や紛失された方も多いので、全員分の名札を改めて作成したいと考えています。

11. インターファミリー

- ・5/11 内藤神父様歓迎会でマリア会のお手伝いをします。
- ・第四週のミサ後にミーティングをします。

12. 一粒会

第三地区指導司祭が姜真求師からラジュ・アントニー師(戸部教会主任司祭)に交代しました。

13. 地区担当

地図への信徒居住場所のピン押しは概ね終了しました。続いて地区所属の見直しを予定しています。

以上

聖年が、わたしたちの信仰を強め、復活のキリストを生活のただ中に見出す助けとなり

わたしたちキリスト者を希望に満ちた巡礼者に変える力となりますように。



聖年
特集
Vol.5

8 希望の最初のしるしは、世界の平和というものです。世界は今また、戦争という惨劇に沈んでいます

す。過去の惨事を忘れがちな人類は、おびただしい人々が暴力の蛮行によって虐げられるさまを目の当たりにする、新たな、そして困難な試練にさらされています。この人たちに、どんな苦しみがさらに必要だのでしょうか。助けを求める彼らの必死の訴えが、諸国の責任者たちを、世界規模の影響を認識し、あまりに多い地域紛争を終わらせることへと、どうして突き動かさないのでしょうか。武器が沈黙し、死や破壊をもたらすことを終わりにさせるとするのは、過大な夢なののでしょうか。聖年は、「平和を実現する人々は、……神の子と呼ばれる」(マタイ 5・9)ということのを思い起こさせるはずです。平和の要請はすべての人に強く訴え、具体的な計画の実施を求めています。恒久的な平和を目指して交渉する場を勇敢に創意をもって作るための、外交努力を欠くことがあってはならないのです。

9 希望をもって将来を見ること一、それは、伝える熱意にあふれた人生観をもつことでもあります。残念ながら、こうした視点が多くの場合で欠けていることを、悲しくも認めざるをえません。その第一の結果が、いのちを継承する意欲の喪失です。目まぐるしい生活

のペース、将来への不安、安定雇用や適切な社会保障の欠如、丁寧なかかわりよりも利益追求が俎上に載せられるような社会モデル、それらの結果、憂慮すべき出生率の低下が多くの国で生じているのです。逆に、異なる事情もあります。「一部の人々の過度で飽くなき消費主義を非難せず、人口増加を非難することは、問題に向き合うことからの逃避です(5)」。責任ある母性と父性をもっているのちへと開かれていることは、創造主が男性と女性の心とからだに刻みつけた計画です。それは、主が夫婦とその愛に託した使命です。国の法制化の取り組みに加えて、信者の共同体と市民社会の、その全構成員からの確実な支援を得ることは急を要します。なぜなら、その愛の豊かな実りとして新しい子をもうけたいという若者たちの望みは、どの社会にも未来を与えるものだからです。この望みは、希望の問題なのです。希望にかかっているものであり、希望を生み出すものだからです。

したがってキリスト者の共同体は、希望のための社会同盟の必要性を支持することにおいて、先頭に立たなければなりません。包括的であってイデオロギー的ではない同盟、今や世界の多くの地域で、たくさんの空の揺りかごを満たすために、大勢の幼児の笑顔あふれる未来に寄与する同盟です。とにかく、だれもが実際に、生きる喜びを取り戻す必要があります。人間は神にかたどり、神に似せて造られたので(創世記 1・26 参照)ただ生きて

いくだけ、なんとかやっていくだけ、物理的な現実満足してよしとするだけ、そうしたことに甘んじてはいられないのです。そうなれば個人主義に閉じ込められ、希望が蝕まれていきます。そこから、心に巣くう悲嘆が生じ、ささくれて、不寛容になるのです。

10 聖年の間にわたしたちは、苦しい境遇のもとで生きる大勢の兄弟姉妹にとっての、確かな希望のしるしとなるよう求められます。自由を奪われ、拘留されている人たちのことが心に浮かびます。日夜、隔離の過酷さに加えて、虚無感を味わい、制約を課せられ、さらには、敬意の欠如がまかり通っているのです。この聖年に際して、希望を取り戻せる施策に着手するよう各国政府に提案いたします。たとえば、自信と社会的信頼の回復を促すための恩赦や刑の免除、法令遵守の実際的な誓約にかなった社会復帰のプログラムです。

これは聖書に由来する古来の勧告で、やり直しができるようにする慈悲と解放のわざを訴えることにおいて、あらゆる知恵の価値をそのままに保っています。「この五十年目の年を聖別し、全住民に解放の宣言をする」(レビ 25・10)。このモーセの律法の定めを、預言者イザヤは繰り返します。

「主は……わたしを遣わし(た。)貧しい人により知らせを伝えさせるために。打ち砕かれた心を包み、捕らわれ人には自由を、つながれている人には解放を告知させるために。主が恵みをお与えになる年……を告知(させるために)」(イザヤ 61・1—2)。このことばは、イエスがその宣教活動の初めに、「主の恵みの年」がご自分において実現したことを宣言して、ご自身のものとされたことばです(ルカ 4・18—19 参照)。地球の至るところで、信者、とくに司牧者は、嘆願の代弁者とならなければなりません。受刑者の人権を尊重した尊厳ある待遇、そして何よりも死刑の廃止を、声を一つにし勇気をもって訴えるのです。死刑は、ゆるしと更生の希望をすべて無にする、キリスト教信仰に反する措置です(6)。投獄されている人々に寄り添う具体的なしるしを示すために、わたし自身が、どこかの刑務所で聖なる扉を開きたいと思います。それを、希望と人生への新たな決意をもって、未来を見るよう招くしるしとしたいのです。

(5) 教皇フランシスコ回勅『ラウダート・シー
ともに暮らす家を大切に(2015 年 5 月 2 日)
50 (Laudato Si')。

(6) 『カトリック教会のカテキズム』2267
(2018 年 8 月 1 日付で発表された改訂)参照。

聖年公式賛歌『希望の巡礼者』

希望の光、神よ、あなたに歌います

尽きぬいのちの泉、あなたを信じます

1. 神のことばはともしび、すべての人を照らす
散らされた人々は、み子のもとへと集められる
2. 神はすべてを見守り、希望の朝を告げる
天地は新たにされ、いのちの霊に満ちあふれる
3. 目を上げ、ともに歩もう、神は再び来られる
人となられたみ子は、喜びと希望への道

こちらの QR コードを読み込むと、公式賛歌を YouTube で聞くことができます。





皆で祈りましょう

2025 年 6 月 8 日(日)は 聖霊降臨の主日です。

「聖霊がわたしたちの間におられることを決して忘れないように。すべてのキリスト者への最初の贈り物は聖霊です。」
(2021 年 3 月 17 日教皇フランシスコ一般謁見)

Adsumus Sancte Spiritus

(聖霊よ、わたしたちはあなたの前に立っています)

聖霊よ、わたしたちはあなたの前に立ち、あなたのみ名によって集います。

わたしたちのもとに来て、とどまり、一人ひとりの心にお住まいください

わたしたちに進むべき道を教え、どのように歩めばよいか示してください。

弱く、罪深いわたしたちが、一致を乱さないよう支えてください。

無知によって誤った道に引き込まれず、偏見に惑わされないように導いてください。

あなたのうちに一致を見いだすことができますように。

わたしたちが永遠のいのちへの旅を続け、

真理と正義の道を迷わずに歩むことができますように。

このすべてを、いつでもどこにおいても働いておられるあなたに願います。

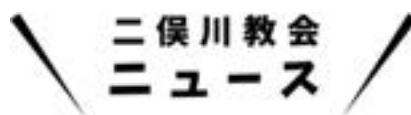
御父と御子の交わりの中で、世々としえに。アーメン。

(『世界代表司教会議 第 16 回通常総会』カトリック中央協議会 HP より)

数百年にわたり、すべての教会会議は

「Adsumus Sancte Spiritus (聖霊よ、わたしたちはあなたの前に立っています)」

という祈りで始まりました。



●新しい教皇様が選ばれました！

フランシスコ教皇の帰天後、コンクラーベ（“鍵をかけて”の意味）と呼ばれる選挙が、100 名を超える枢機卿たちによって行われ、初めてのアメリカ出身者である教皇、レオ 14 世が選ばれました。ミサ中の奉献文の取り次ぎの祈りも、レオ 14 世に変わりました。

●6 月の大切な予定です！

8 日の聖霊降臨の主日には「わかちあいたいかい」が行われます。皆様ご参加ください。
また、22 日のキリストの聖体の祭日には 8 名の子どもたちが初聖体のお恵みをいただくことになっています。たくさんのお祈りで子どもたちを支えていきましょう。

4/13 帰天・二俣川教会初代主任司祭ドバール神父様に感謝を込めて



10 年前、89 歳のドバール神父様

5 月 18 日、ドバール神父様の追悼の意向を入れていただき、ごミサを捧げることができました。この日に併せて、様々な資料や写真が展示されました。紹介の文章も読まれましたので、掲載します。

ドバール神父様と二俣川教会についてご紹介したいと思います。去る 4 月 13 日、二俣川教会の創設にご尽力された、二俣川教会初代主任司祭のヨゼフ・ドバール神父様が、母国フランスで帰天されました。享年 99 歳。6 月の



ご両親と一緒にのドバール神父様

100 歳のお誕生日を目前に、突然の知らせとなりました。葬儀は 4 月 17 日に、ドバール神父様の故郷の村にある、神父様ご自身の司祭叙階式も行われた教会で執り行われました。御冥福をお祈り致しましょう。

60 数年前、保土ヶ谷教会の助任司祭でいらしたドバール神父様は、「遠くから苦勞して通う信者たちの信仰を守るために、教会を創りたい！」という熱い想いをもって奔走され、ご自身の相続財産であるフランスの広大な土地を売って教会建設に充てられ、「カトリック二俣川教会」が誕生しました。それは丁度、第二バチカン公会議と東京オリンピックが開催された歴史的な年と重なりました。献堂当時、信徒数 60 名、司祭館と集会室しかない建物、椅子もなく座布団を敷いてごミサを捧げ…そのように始まった教会も今やこのように大きな教会共同体となり、今年、献堂 60 周年を迎えました。



初代教会委員長の関さんと
初代主任司祭のドバール神父様

10 年前、二俣川教会献堂 50 周年の折にいただいたドバール神父様のメッセージには、このように綴られていました。『二俣川教会の守護の聖人に二十六聖人を選んだのは、荒井司教様や信者たちと話し合い、この名前が選ばれました。私にとってこれは自然に出てきた名前でした。

事実、主イエス・キリストを否定するよりも死を選び長崎で殉教したキリスト教徒について、母が称賛を込めて子どもの私に聞かせてくれたものでした。彼らの信仰は今日もなお、私たちに問いかけ続けているのでしょうか？』

長い年月が経ち、ドバール神父様と直接出会ったことのない信徒がほとんどとなった二俣川教会で今日、私たちはその歩みを思い起こしています。60 年前、「二俣川に教会ができる！」その知らせはまさに、神様がドバール神父様を通して与えてくださった「福音」でした。今こそ初心に返り、キリスト者としての神様との交わり、そして信徒の交わりを大切にしながら、世の光となっていけるよう皆で歩んで参りたいと思います。そして、遠く離れたフランスでいつも



現聖堂の献堂式のために再来日されたドバール神父様



5月18日、ロビーの展示をご覧になる皆様

「私の心は二俣川教会にあります」と仰っていたドバール神父様へ、感謝の祈りを捧げ続けて参りましょう。

ところで、聖堂に入る右側のドアの横に置かれた聖書をご存知でしょうか？この聖書はドバール神父様がご自身の叙階 60 周年の記念として「親愛なる二俣川教会の皆様へ」と寄贈して下さったものです。特別な愛の贈り物に込められたドバール神父様の想いをあらためて感じたいと思います。

最後に、一緒に祈りたいと思います。

『父である神様、私たちにドバール神父様を送ってくださったことを、感謝いたします。二俣川という新しい宣教の地でドバール神父様が示してくださった精神を、今を生きる私たちが思い起こし、みんなで共に、新たに生かしていくことができますように。』

右の QR コードをスマートフォンのカメラで読み込むと、献堂 50 周年の折に作成した『50 年の歩み』と題したムービーを見ることができます。ドバール神父様の肉声も収録されています。



～ナン助祭の司祭叙階に向けて共に歩む～

●今後の取り組みについて

Vol.1

- ①ナン助祭が送ってくださる、ベトナムでの司牧実習の様子などの写真をロビーに掲示して、『ナン助祭通信』として皆さんにお見せしてまいります。(不定期更新) 近況を知りつつ、心を寄せてお祈りしてまいりましょう。
- ②6月29日(日)の聖ペトロ聖パウロ使徒の祭日、10時ミサの後、洗礼名が「ペトロ」のナン助祭へ、ビデオメッセージ(全員参加)を2階より撮影します。それぞれの場所で同じ時間に祈る「祈りの輪」を、29日の夜9時、ナン助祭のために行います。どちらも皆さん、ご参加ください。
- ③ナン助祭の司祭叙階を祈り、祝う私たちの心の準備のために、7月の主日(日程未定)に、日本カトリック神学院の院長、稲川圭三神父様をお招きしてごミサを捧げ、ミサの後に講話をお願いしました。
- ④ナン助祭への司祭叙階のお祝いとして『みんなで書いた新約聖書』をプレゼントすることにしました。壮大な計画となります。贈呈は10月頃に予定されるであろう二俣川教会での初ミサでと考えています。詳細は後日ご案内致します。



ベトナムと日本という距離を超えて、霊的な準備をどのように進めていくかというプロセスを大切にしていきたいと思います。皆さんで歩んでまいりましょう！

4/21 帰天・フランシスコ教皇様を偲んで…

喜びの復活祭を迎え、姜神父様を感謝のうちに送り、復活節を歩み始め、まだ、復活祭の教皇メッセージも読みきれぬ時、私たちにもたらされた知らせは、あまりに突然で、悲しく、そして意味深いものでした。フランシスコ教皇様は、最後まで貫かれた真の牧者としての姿、生きた言葉、生きた模範をくださいました。生涯、忘れることはないでしょう。共にわかちあい、共に偲び、フランシスコ教皇様を通していただいたお恵みを、深く味わいながら歩んでまいりたいと思います。

5月3日、横浜教区としてのフランシスコ教皇様の追悼ミサに参加された方に寄稿していただきました。

親愛なるフランシスコ 教皇様 安らかに

世界 14 億人のカトリック信徒の頂点に立たれる教皇、一信徒にとっては遠い存在と思っていました。ですがフランシスコ



教皇様は親しみやすい笑顔とともに文字通り世界中を駆け巡り、日本にも来てくださり、私も東京ドームでのごミサに与ることができました。核兵器廃絶を訴え、広島、長崎を訪れてくださるなど平和のための言動はニュースでもしばしば取り上げられていて、なぜか身近に感じられるようになるとともに、そんな教皇様を頂いて一信者として誇らしく感じたりもしていました。

山手教会での横浜教区としての教皇フランシスコの追悼ミサのお知らせを受け、遠出の外出は難しい夫に家族を代表して行ってきてと言われ、気後れもありましたが、同じように家族に背中を押された娘とともにごミサに与ることができました。横浜全体から信徒が集まってくるので末席に連なることができれば、と思って行きましたが、補助の椅子もたくさん用意され、お御堂に入ることができました。司式なさったラファエル梅村司教様のお説教によってフランシスコと名乗られた教皇様が、質素を好み、貧しい人々に心を寄せ、ご高齢をいとわず愛と平和のために世界中を旅し、積極的に発言された教皇様の人となりを偲び、改めてフランシスコ教皇様を失った悲しみとともにその足跡が次なる教皇に受け継がれることを願わずにはいられません。日本からコンクラーベに参加された菊地功枢機卿様が今公開中の映画「教皇選挙」と違って和気あいあいの雰囲気だったと述べられているのをテレビで拝見して、ほっとしました。教皇レオ 14 世のもと、教皇フランシスコの絶えず願い求めたまことの平和と一致が世界のすべての人の間に実現しますように。

ジュリアビリアート S. M.

Habemus Papam !

アベムス・パパム！(新教皇の選出を告げる宣言のことば)

5月8日(木)午後6時9分(日本時間9日午前1時9分)、システィーナ礼拝堂の煙突から教皇選出を告げる白い煙が上がり、サンピエトロ大聖堂の鐘が鳴らされた。

コンクラーベ開始2日目、午後の1回目(最初から数えて4回目)の投票による選出だった。

午後7時13分(日本時間9日午前2時13分)、サンピエトロ大聖堂バルコニーに助祭枢機卿のドミニク・マンベルティ枢機卿が現れ、新教皇選出を告げた。

『Habemus Papam = 我ら教皇を得たり』

その後、午前7時23分(日本時間9日午前2時23分)、ロバート・フランシス・プレボスト枢機卿(米国出身)が現れた。

新教皇はレオ14世を名乗った。

新教皇は、バチカンのサンピエトロ広場に集まった人々に挨拶し世界に向けて祝福を与えた。

(「カトリックジャパンダイジェスト」より)



初のアメリカ出身の教皇様。

お誕生日は1955年9月14日。
現在69歳。

ペルーで20年以上宣教活動。
ペルー国籍もお持ちです。

英語、ラテン語、スペイン語、
イタリア語、フランス語、
ポルトガル語がお上手。

レオ14世教皇様のモットーは…
『IN ILLO UNO UNUM.』
(わたしたちは彼(キリスト)一人の
うちに一つである)

趣味は…
テニス、読書や旅行

聖アウグスチノ修道会の会員。
10年以上にわたって総長を務め、
その間に数回来日。

二俣川教会の9人目の主任司祭だった
ケン・メーザ神父様は4年間、シカゴの
カトリック神学連合でレオ14世教皇様と
共に学んでいた。

Leo PP XIV

きょうかいがっこうだより

カトリック二俣川教会 教会学校

2025 年 6 月

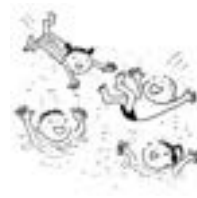
【6月の予定】

- ・6月1日 教会学校 初聖体クラス
- ・6月8日 侍者会 わかちあいたいかい(ミサ後 子どもプログラムもあります)
- ・6月15日 教会学校 初聖体クラス
- ・6月22日 初聖体
- ・6月29日 初聖体クラス



【お知らせ】

- * 6月8日はミサ後、教会の「わかちあいたいかい」が開かれます。
保護者の皆さまにも「わかちあいたいかい」に参加していただけるよう、子どもプログラムも準備しています。子どもプログラムに参加する子どもたちは、水筒と昼食を持ってくるください。
- * 7月26日(土)にサマースクールを計画しています。
たくさんのお子たちの参加をお待ちしています。今から、予定に入れておいてください。



内藤聡神父様 よろしくおねがいいたします！！



4月25日にわたしたちの二俣川教会に新しく内藤聡神父様をお迎えしました。内藤神父様は、さっそく5月の教会学校からわたしたちの様子を見にきてくださり、初聖体の勉強にいっしょに参加してくださっています。



初聖体(6月22日)



2日に8人のお友だちが初聖体の勉強をおめぐみをいただきます。1月からリーダーといっしょに準備の勉強を進めてきました。ロビーのホワイトボードに、お友だちの紹介と「かみさまへのてがみ」が掲示されています。ぜひ見てください。そして、この8人のお友だちのためにいのりをしましょう！保護者の皆さまもどうぞお祈りください。
2日は教会学校のクラスはありませんが、教会にとって、そして教会学校にとっても大きなお祝いですので、みんなでミサに参加しましょう！

各クラスの様子

幼児クラス



小中学生クラス



初聖体クラス

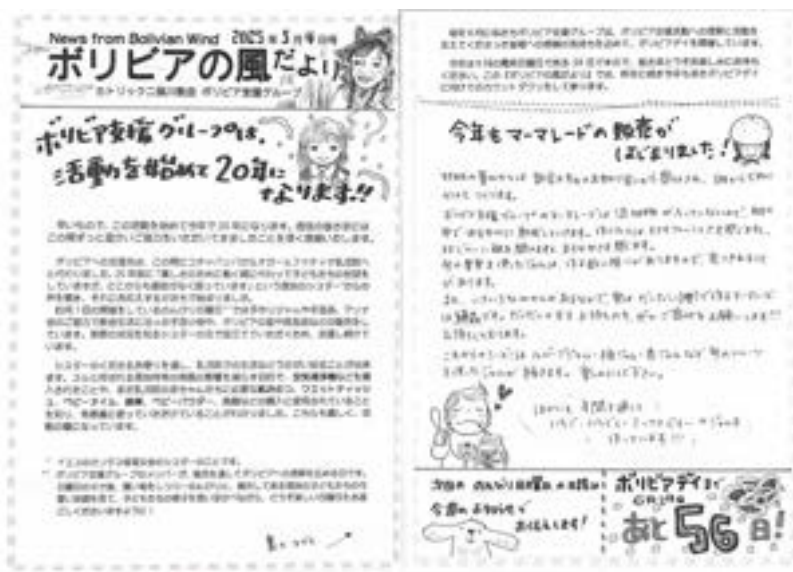




マリア会では 5 月 18 日の主日ミサ後、はじめての例会を開催しました。ご存じの通り私たちマリア会は、二俣川教会共同体の成人女性信徒全員が会員という広い組織です。普段お話しする機会が少ない方とも改めてお互いを知り合う機会を、と思い今回の企画となりました。例会は、奇数月第三日曜 10 時ミサ後に開催予定です。今後も気軽な交流を重ね、神様の愛のもとであたたかな絆を深めていきたいです。お誘い合わせの上、集会室にお上がりください。お待ちしております♪

ボリビア支援グループよりおしらせ

ボリビア支援グループは、ボリビアの子どもたちへの支援を始めて、今年で 20 年になります。親と一緒に暮らせない乳幼児たちに、安全で安心できる生活環境を提供し、心身の健やかな成長を支える重要な施設で奉仕なさっているイエスのカリタス修道女会のシスターの方々に、私たちは少しでも力になればと「のんびり日曜日」で得た献金を捧げて参りました。活動を支えてくださった信徒の皆様、心より感謝申し上げます。



6 月 29 日は「ボリビアデイ」を開催いたします。皆様への感謝と活動のご報告をいたしたいと考えています。どうぞ、お越しいただけると幸いです。

マリア会 K. R.

←ボリビアデイに向けて
発行しています！

【編集後記】

日本教会では、復活節第 6 主日に記念された「世界広報の日」。この日に先立ってフランシスコ教皇様が遺してくださったメッセージが心に響きました。未だかつてないほどに、情報の扱いは危険な状況にあること。そんな中でコミュニケーションの「武装」を解くこと。そして、謙遜に相手の顔を忘れず、人々の心に語りかけ、よく考えて語り、難しい状況にあっても常に希望を蒔く、人々の傷をいやすコミュニケーション…。私たちの小さな教会誌ではありますが、教皇様の励ましを胸に、これからも、神父様の司牧を助けるために編集をもって奉仕し、二俣川教会の歩みを記録していきたいと思ひます。

(O. Y. 記)